

## 2016 年度活動報告 CJP 授業： インディペンデントスタディ 文法・読解 2

手科 美保（関西学院大学日本語教育センター）

福富 奈美（関西学院大学日本語教育センター）

### 1. クラス概要

本授業は初級の学生を対象とし、1) 初級後半の表現を使って、日常会話ができるようになること、2) 身の回りのことについて、事実や感想をまとめた長さで表現できるようになることを目標とした。そして、文法・読む・書くの3つの技能のうち、自分の日本語で弱いと思う部分を、自分で計画を立てて重点的に練習し、冬学期が終了するまでに自分の立てた目標に到達することを目指した。授業は週3回あり、『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版 本冊』をメイン教材として使用した。扱った課は第36課から第50課である。

### 2. 授業内容

初めに各学生が今学期の「学習計画」を立て、それに沿って個別学習が進められた。計画を立てる際、教員は、文法だけでなく、読む・書く等のバランスを考えることを勧め、適当な教材を紹介した。また、学習全体のペースと効果を測るため、『みんなの日本語初級Ⅱ 標準問題集』を指定された期間内に提出することとし、理解できていないところは教員が指導した。さらに、学習の進捗状況を確認するため、毎回「振り返りシート」を書いてもらった。最終日には、学期全体の理解度を見るため、初日と同じテストを実施した。

### 3. 成果と今後の課題

学期末アンケートでは、10名中9名の学生が授業に「満足」または「まあまあ満足」と概ね好評価を得ることができた。自分のペースで学習し、わからないときは教師に質問できたことが好評だった。その一方で、「教室に来て勉強することの意義があまり感じられなかった」というコメントもあった。また複数の学生から共通の質問が出ることも多かったことから、より良い学習効果が得られるよう、毎回授業の20分程度を全体で説明・練習する時間に充ててもよかったのではないかと考える。